

2004年10月29日 R25 10月28日号



よみこ有野と劇団ひとりが

「なつゲー」に挑戦!!

80年代リバイバルが加熱しているが、ゲームの世界にも新たなサービス「なつゲー」が登場した。ゲームの師匠よみこ・有野晋哉と、ゲーム初心者兼R25代表・劇団ひとりの両氏にその魅力を体感レビューしていただいた。

なつゲー
<http://72game.com/>

ゲーム師匠よみこ有野の「なつゲー」放談

毎朝ゲームを買って現場に入ってた時期もありました

芸風そのままにシニカルな視点からゲームを語る有野晋哉は、熱血な体育会系ゲーマー・伊集院光とは異なる。部室持ちの文系ゲーマーに見えた。もちろんその知識や愛情は深く、自らが司会するゲーム番組にも、相方は必要ないよ。という視聴者の声が寄せられるほどだ。

「よくやるのは、「バイオ（ハザード）」みたいなアクションロープレですけど、パズルとか格闘も普通にしていますねえ。ひどいときは、ゲームやれへんに買ってた時期があったんですよ。『笑っていいとも!』に出たときなんか、毎朝さくら屋に行ってソフト買って現場に入るっていう。楽屋で説明書見て、ああこんなゲームなんや」と思うだけのアホみたいなことやってました(笑)

自宅には現行のハードがすべて揃い、サターンや3DO(?!)などのレアなマシンも眠っているという有野氏。そのゲームな日々の原動力は、格闘家同級生宅でハマったというファミコンだったの(笑)。(二いっきより) 「生まれて最初にやったんはマリオ(ブラザーズ)ですか。毎回7、8人集まってたんですけど、そのファミコンが接触悪くて絵が出ないときがある。だから、持ち主以外が交代して、コードを踏み係、やりましたよ。その後に「ボンバーマン」が出たとき、スコいの出たなア! 」とシ

ヨックを受けて。なんか、あからさまに殺し合うっていうゲームじゃないですか(笑)。自分で丸ボタンのファミコン買ってからも、家ではいつもゲームしてましたね」

高橋名人もこっさりスコア、試しにくると思うんですけど

R25読者ならたれしも、有野氏のような。ファミコンの洗礼。を通過してきただろう。その古き良き日々を、パソコン上で再体験できるというのが、10月4日に開始されたゲームコミュニティ「なつゲー」だ。同サイトには「いっき」や「チャレンジャー」など、時代を彩った名作たちが顔を並べる。

「エレベータアクション」とか、いま新しく出てきたらなあと思うんですけど、「いっき」も「コーエー」かがすんごい映像で出したり。農民ちゃやうやろみたいな(笑)。このごろのゲームって、いま見たら絵とかチャチャいんですけど。こうすればこう動く、っていう簡単さがあつたじゃないで



「友だちの家だと、はよ代われ! って応援できないし(笑)」



R25世代3人のシロートさんによる 「なつゲー」トークバトルの結論は 「要するにゲームだけじゃないよね〜！」

ゲームは好きだけど、ゲーマーって呼ばれるほどじゃないっていう人は多い。
そんな「普通のゲーム好き」の一般人が、普通に「なつゲー」を熱く語った。
なるほど、「なつゲー」には、意外なほまる「ツボ」があるようで……

友

連の家にいき、カラスが鳴くまで没頭したゲーム。この少年時代の思い出を持つR25世代は多いはずだ。コントローラーを奪い合い、攻略法を語り合った毎日。「なつゲー」には、こうした仲間とのゲーム以外の楽しさを思い起こさせるコミュニティ機能が備えられているのも魅力のひとつだ。



これが「なつゲー」のトップページ。10月にサービスを開始して以来、メンバー数も増加中だ

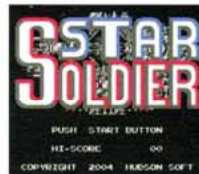
松永望（以下・望）「今までのネットゲームとは違い、一人で遊んでいるという感覚は少ないです。それそれぞれがホームページを持っているからどんな人なのかプロフィールで分かるし、掲示板に書き込んだりして楽しめるから、簡単に友達を作れる。まるで学校の休み時間に昨日やったゲーム話で盛り上がったような、懐かしさを感じます」

中田秀彦（以下・秀）「こうしたゲーム系コミュニティというのは、大抵オタクな人たちが占有しているけど、「なつゲー」は入りづらいけど、「なつゲー」は違う。訳の分からないゲーム用語を使う人は少数だし、初心者でもスムーズに入ることができそうです」

寺坂大二郎（以下・大）「R25世代の人たちって、少年時代にゲームをやり込んでいる人が多かったからじゃないかな。今の3Dゲームにはついていけないけど「いっき」や「スターソルジャー」な



インターネットのできる環境があれば、いつでも気軽に、好きなだけゲームを楽しめるのだ



©1986,2004 HUDSON SOFT

ら俺でも……っていうか負けない。きつとそういう元ゲーマー（？）が集まるサイトなんだよ」

望「少年時代は、十分ゲーマーと言われるくらいやり込んでいましたからね。ただ操作方法や隠れアイテム、攻略法をすっかり忘れてしまっている。それを掲示板や日記で教えてくれる人がいるから本当に助かりますよ」

秀「僕は、よく「たすけ合い掲示板」を利用します。各ゲームごとにあるんだけど、そこには攻略法が書いてあったりするからすごく助かる。さらに、得点ランキング上位の人のホームページにもたまに攻略法が書かれていますね」

大「なつゲー」にあるゲームって、決してやりこんだゲームばかりじゃないですよ。「いっき」とかやったことはあるけど、やりこんでいない。だから、最初は全然覚えていない。ゲームオーバーになると、ついつい悔しくて何度もやり直さう。掲示板や日記を参考にしたりは繰り返して、上手くなっていく過程がすごく楽しいよね」

望「そうそう。これは、昔のTVゲームの良さですよ。Aボタン」



左から、松永望さん（27歳）、中田秀彦さん（26歳）、寺坂大二郎さん（30歳）。今回取材に協力してもらった3人とも、自宅でインターネットを利用しているが、今のゲームは難しいのではまりにくい、と口を揃える

2個しかない簡単なゲーム。今の8個もボタンがあるゲームでは、途中で諦めちゃうけど、2個しかないんだから俺でもできる、って思えるんですよ。それに、ホームページの成績表にランキングが表示されて、低いとスゴく悔しい感覚とか、まるで子供みたいですよ（笑）」

大「俺もオンライン対戦でネット友達が増えた。ゲーム終わった後に、ロビーで1to1チャットするのが好きで「あの時はこうすべきだった」とか色々話せて、ゲームをするだけのサイトじゃないんだな、と再確認したね」

秀「あと、ホームページを充実させるのも楽しみのひとつ。あしあと機能で、どれだけ自分が自分のホームページを見たか分かるから、アクセス数が多いとスゴく嬉しい。だから日記を書いたり、掲示板を作成したり、高得点を出してランキング入りしたり、と色々工夫しています」

大「友達リストにある、友達の数も覗い合ったりもするね（笑）。知り合いを呼んで、一緒にゲームする。まさに少年時代に経験した友達の家で遊ぶ、と同じ感覚だよ」

望「なつゲー」には、共通の話題と思い出があるからこそ、スムーズに友達になれるんですよ」

ただいま入会キャンペーン中!
「なつゲー」に無料メンバー登録
するなら今がお得だ!



「なつゲー」のキャンペーン期間中（11月30日まで）にメンバー登録（無料）をすれば、JTB旅行券やデジタルカメラ、液晶型テレビなどが当たるチャンスが!

詳しくは、ケータイから空メールを
go@72game.comへ※1

携帯電話から「なつゲー」
<http://72game.com/>にアクセスしてみると、ウレシイことに着メロと待ち受け画像が無料でゲットできる!
※2

※1ドメイン受信設定をご利用の方は、ドメイン「72game.com」からの携帯電話の受信設定を“可”にしてください。
※2携帯電話の機種によってはご利用できない場合もあります。

R25読者限定プレゼント〜!
720名限定「なつゲー」プレイチケット

抽選で720名様に
10枚のプレイチケットがあたる!!

詳しくは、<http://R25.jp>
締め切り/11月11日

「なつゲー」にあやかって、「720名」にプレゼントします。プレイチケットが当選した方には、「なつゲー」内のゲームを存分に遊んでもらいます〜!

なつゲーに関する詳しい情報は
<http://72game.com/>